

大学発ベンチャー株式会社 TOFFEE 設立

技術科学イノベーション専攻 中川 匡弘

1. 会社設立までの経緯

発表者はこれまでに、脳波を活用してリアルタイムで“今、この人は何を感じているか”を計る感性計測・解析・評価に関するノウハウを構築してきました。こうした技術をものづくりに還元することで、“感性”という新しい価値を付加した製品（人間が感覚的に“良い”と思える製品）を創り出すことに成功し、多数の企業から受託研究を受け、様々な製品を世に送り出してきました。そして平成25年、文部科学省の「大学発新産業創出拠点プロジェクト(START)」(平成27年度からは「大学発新産業創出プログラム(START)」として科学技術振興機構が実施)に採択(右表参照)されたことを機に、発表者の研究開発技術と事業プロモーターユニットである野村ホールディングス株式会社の事業化ノウハウが組み合わせられ、平成28年4月に株式会社 TOFFEE (トフィー) (以降、当社と称す)は誕生しました。

表 発表者の START 事業における採択プロジェクト

研究開発課題名	スマートセンシングを用いた感性計測装置
研究代表者	中川匡弘 (長岡技術科学大学・教授)
代表事業プロモーター	濱田隆徳 (野村証券株式会社・次長)
研究開発実施期間	平成25年12月1日～平成28年3月31日

2. 事業概要

[新たに開発した感性計測装置 \(写真\) ^{※①}を用いて、](#)

[11件の特許群を活用^{※②}し、多岐にわたる事業を展開^{※③}いたします。](#)

※①写真は、当社の“核”ともいえる感性計測装置です。従来のものと比較して、優れた精度と広い適用範囲が証明されました。さらに、小型化・軽量化を実現し、装着性・携帯性に特化させたことで、事業ターゲット層を大幅に広げる事に成功しました。“いつでも・どこでも・もっと身近に” 感性計測を体感できるよう、将来的に24時間のオンラインサービスにも対応させます。

※②当社の技術は、発表者の発明による特許群を活用した他にはない新技術です。本技術は、10人程度の調査で1000人規模のアンケート調査と同等な分析を可能にしました。さらに、その結果をリアルタイムで得られるという点は、本技術の大きな特徴であり強みともいえます。

※③市場規模は、感性計測のみでも100億円以上と言われ、脳波に関連するデバイスまで含めると1,000億円以上の規模が想定されています。今後は、製品開発事業の拡大を目指すと共に、スマートハウス事業や入力デバイス事業、ウェアラブル、ヘルスケア事業などを展開していく予定です。

(http://www.toffee.jp/pamphlet_dl.phpにて当社のパンフレットがご覧になれます。)



写真 事業展開に向けて開発した感性計測装置